

業界各位
ニュースリリース

2011年2月14日
アメリカ大豆協会
ASA-IM JAPAN



アメリカ大豆協会 アメリカ産 Non-GMO 食品大豆展示会のお知らせ

U.S.-JAPAN SOY FOOD ALLIANCE 2010 TRADE SHOW



アメリカ大豆協会(本部:米国 ミズーリ州 USSEC)インターナショナルマーケティングは2月25日(金)に秋葉原のAKIBAPLAZA AKIBA HALLにてアメリカ産食品大豆の展示会を開催いたします。

アメリカは世界最大の大豆生産国で、Non-GMOの食品向け大豆も約600万トンと世界一の供給量を誇っています。また、伝統大豆食品である豆腐、納豆、味噌、醤油、豆乳、大豆油等の食用大豆原料の日本向け輸出は日本の大豆輸入量の約7割を占め、安心・安全をモットーに日々安定供給に取り組んでいます。

本年は、その中でもNon-GMOの食品用大豆生産と日本向け輸出に注力している州農務省、輸出業者、種子会社の計10社/団体が、2010年産の新穀大豆や関連製品を展示します。

皆様のご来場をお待ちしております。

日時: 2011年2月25日(金) AM 10:00-1200 | PM 13:00-14:00
会場: AKIBA PLAZA AKIBA HALL 富士ソフト秋葉原ビル
主催: アメリカ大豆協会 インターナショナル・マーケティング
入場料: 無料
申し込み切: 2011年2月22日(火)

尚、アメリカ大豆協会は同週の火曜日から3日間、2月22-24日まで農林水産省との要請を受けて、大豆加工食品製造業者連絡協議会-アメリカ大豆生産者との意見交換会(英名: 3rd U.S.-JAPAN SOY FOOD ALLIANCE)を開催し、各団体業界の直面する課題や機会について二国間で協議し、その他にも懇親会、工場見学等を行い、日米の交流を図ります。

アメリカは最先端のバイオ技術にとどまらず、従来型農業技術を含む全ての農業分野において世界のリーダーです。今後も、アメリカの大豆業界と生産者は日米のパートナーシップをさらに深化・進化させ、日本が誇る伝統大豆食品マーケットに対し、世界最大級のサプライヤーとして食品大豆の安定供給を約束いたします。

【アメリカ大豆協会 American Soybean Association - International Marketing】

最初の海外事務所として、1956年に設立される。政府機関、大学および研究機関、大豆関連業界等と密接な連携をし、米国大豆生産者に代わり、アメリカ産大豆の日本における市場開拓活動、米国大豆生産・市場、米国大豆及び関連副産物の利用等に関する情報提供等を行っている。日本の業界のニーズ、市場状況等を、米国大豆生産者や米国大豆サプライヤーへの情報提供も行う。ウェブサイト ➡ <http://www.asaimjapan.org/>

■ お問い合わせ ■

アメリカ大豆協会

担当: 立石

E-Mail: Tateishi-asaimjp@gol.com

Tel: 03-5563-1414 | Fax: 03-5563-1415